

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 幌別鉄南地区海浜地緑化事業
-------------------	----------------------------

区分	番号	名称						
章	2	自然とともに暮らすまち						
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり						
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出						
小分類	2	自然環境の保全と回復						
主要な施策	5	海岸沿いのみどりの保全、回復						
事務事業番号	001	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084;">事務事業コード</td> <td>22125001</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業開始年度</td> <td>平成 2 1 年度</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業終了年度</td> <td>平成 2 2 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	22125001	事業開始年度	平成 2 1 年度	事業終了年度	平成 2 2 年度
事務事業コード	22125001	事業開始年度	平成 2 1 年度	事業終了年度	平成 2 2 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	幌別鉄南地区海浜地緑化事業
------	------	------------	---------------

部 名	都市整備部	グループ名	都市計画・公園 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 地域住民と協働で海浜地を緑化することにより、地域の景観・環境を改善するとともに、将来的には育成した樹木により潮風を防ぐなど住宅地の生活環境の向上を図る。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 幌別鉄南地区の海浜地に黒松を植樹する。 第 2 期計画 (平成 2 1 年度実施) 黒松植樹 3 1 1 本 (平成 2 2 年度実施) 黒松植樹 6 3 本 (平成 2 3 年度以降) 休止
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 黒松の植樹を行うことにより海浜地の景観が向上した。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	黒松植樹本数	本	目標値	63				
			実績値	63				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	660					0
合 計			660	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	483	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		483	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 地域の環境改善を図るため、住民の協力のもと緑化を進める事業であることから、市が事業主体として実施していくことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 黒松の植樹により、海浜地の景観が向上している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業を継続実施することにより、成果の向上を図ることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 緑化に必要な樹木や資材の確保は市が行っているが、植樹作業は地域住民の手で行うなど、最小限の経費で事業実施しているため、コスト削減はできない。

担当グループによる評価

休 止	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業による海浜地緑化は、既存の資材等が除却された箇所において実施しているが平成23年度に計画している箇所の除却が進んでいないことから、除却が完了するまで休止することとしている。
-----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

休 止	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）